



平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

男子		平成28年7月28日		14:30 開始	
1回戦		安佐北区スポーツセンター		I	

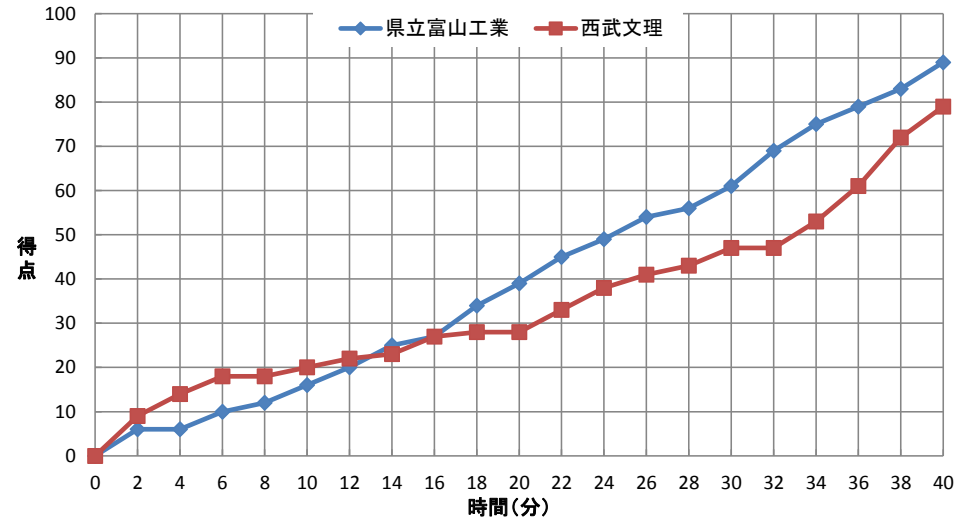
◎ 県立富山工業 (富山県)	89	〔	16	1st	20	〕	79	西武文理 (埼玉県)
			23	2nd	8			
			22	3rd	19			
			28	4th	32			

番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	尾崎 楓也	-	-	-	-	-	* 4	上原 敬太	11	3	1	0	3
* 5	飴谷 由毅	22	0	9	4	2	* 5	大野 力	12	0	5	2	5
6	藤田 圭吾	-	-	-	-	-	* 6	渡邊 陸	25	1	9	4	3
7	竹林 駿	-	-	-	-	-	* 7	山口 裕毅	9	3	0	0	5
8	毛利 脩平	-	-	-	-	-	* 8	星野 太我	14	2	4	0	4
9	橋本 大弥	11	3	1	0	0	9	坪田 悦正	0	0	0	0	0
* 10	平崎 遥斗	21	3	4	4	1	10	砂見 悠吏	4	0	1	2	1
* 11	三山 浩宗	10	0	4	2	1	11	荒井 響斗	4	0	2	0	4
* 12	浜子 武大	14	0	6	2	1	12	川島 丈	-	-	-	-	-
* 13	千保 北斗	3	0	1	1	2	13	園田 開	-	-	-	-	-
14	堀田 理仁	8	0	3	2	3	14	中島 幸也	-	-	-	-	-
15	堀川 歩夢	-	-	-	-	-	15	田中 壱併	-	-	-	-	-
コーチ	松井 昭博					0	コーチ	大久保 英人					0
Aコーチ	島田 育弘						Aコーチ	吉野 雅俊					
合計		89	6	28	15	10	合計		79	9	22	8	25

主審: 望月 公平

副審: 笹本拓

得点経過



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	14:46	:	27:52	34:48	:	:	:	:	:
TeamB	12:22	17:20	31:05	33:41	38:32	:	:	:	:

〔 戦 評 〕

第1P、両チームともハーフコートマンツーマンでゲーム開始。序盤高さで劣る西武文理がハーフコートで激しいプレッシャーをかけ、平面バスケットに持ち込もうとする。一方富山工業はインサイドにボールを集め高さで勝負を狙う。西武文理は素早い攻守の切り替えから得点を重ねペースを握ったが、富山工業も速さに対してハリバックで対応し得点を許さない。西武文理4点リードで第1P終了。

第2P、開始早々、富山工業は#5のリバウンドシュート、ポストプレイなどで一気に流れを引き寄せ。3分経過したところで富山工業#14のジャンプシュートが決まり23対23の同点。その後は両チームとも激しいディフェンスで得点をあたえない。両チームとも激しいディフェンスでミスを誘い、西武文理は2回ターンオーバーをしたところでタイムアウト、富山工業も2回ターンオーバーをしたところでタイムアウトをとり、互いに相手に傾きかけた流れを断ち切る。終盤、疲れからか西武文理のシュートが落ち始め、リバウンドを制した富山工業がペースを握り、前半は39-28富山工業9点リードで終了。

第3P、両チームともハーフコートマンツーマンから始まった。序盤は3Pシュートの打ち合いになり、中盤以降も互いに譲らず一進一退の攻防が続く。残り3分半で流れを変えたい西武文理は2-1-2のゾーンディフェンスに変更した。富山工業はゾーンディフェンスに対応できず、シュートが入らなかったが、リバウンドを拾い得点を重ねる。西武文理は#5のポストプレイで対抗するが、ファウルが重なりフリースローで徐々に得点を引き離され、61-47で第3P終了。

第4P、互いにハーフコートマンツーマンから再開、西武文理は早い展開に持ち込みたかったが、富山工業は、#9、#10がショットクロックぎりぎりの3Pシュートを落ち着いて決める。試合の流れを変えきれない西武文理は残り6分19秒でタイムアウトを請求。オールコートマンツーマンプレスに変化させ、富山工業にプレッシャーを与え続けた。西武文理は20点以上ついていた差を、終盤の驚異的な粘りで、一度は7点差まで詰め寄ったが、力及ばず89-79で富山工業が勝利した。

戦評: 内藤 雅博

記録: 広島文教女子高校